

「消費税いませるべきではない 5・17新潟集会」参加

「10月消費税10%ストップ！新潟ネットワーク」主催の集会在、5月17日夕方、新潟駅南口広場で開かれました。上越からは若手4名が参加。参院選新潟選挙区野党統一候補の『打越さくら』さんや主催者・支援政党の代表者などが400人の聴衆の前で理不尽な消費税増税反対を訴えました▼特に新潟では時のひとである『打越さくら』さんの登壇は大きな拍手で迎えられ、日本の逆立ちした税制の過ちを正し、消費税に依らない公平な徴税により、社会福祉の財源を確保していくという政策を力強く訴えました▼我々民商が今取り組んでいる消費税増税反対の署名や訴えは、全国で展開されており、今回のようなネットワークも各地で結成されています▼いずれは増税も必要と考えている人、税率引き下げを求めている人、消費税そのものに反対している人など、考えの違いを超えて「いま消費税を上げるべきではない」という一点で多くの賛同者の後押しを得て共闘しています▼ですから民商は、まだまだ消費税の増税は止められると考えていますし、諦めてはいません。増税反対の署名も民商事務所にたくさん用意してあります。やはり「数は力なり」。上越民商では今、会員一人10筆目標に挑戦中です。最後の最後まで頑張り抜きましょう！【現在の署名数 1,293筆（一人当たり約 3.7筆）】



午前「消費税と軍事費、今問われる日本の針路」と題して、ジャーナリストの布施祐仁さんの講演を聞きました。2019年度予算の防衛費は、5兆2,574億で5年連続過去最高を更新しています。また、年間防衛費の4割は過去に購入した「兵器ローン」の返済に充てられ、ローン残高は年度予算額を越えています。しかもまた、アメリカ言いなりに高額な兵器を「爆買い」です。維持整備にも莫大な費用が掛かります▼今まで「米国が日本を守る」と言われていたが、今は「日本が米国を守る」体制になっていると指摘。国民の福祉が切り捨てられる一方、軍事費予算が突出し、消費税がその財源にされている。今こそ「税金の使われ方」を監視する必要があると訴えかけました▼午後からは各民商の活動報告で、高森事務局が上越の活動報告をしました。た。「クラブ手芸」「新年会」など学習しながら楽しい行事をして部員同士つながっていることを報告しました。

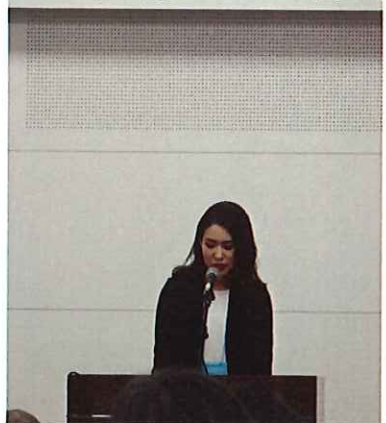
「全商連・第4回地方別活動交流会」に5名が参加



2年に一度、全商連総会が無い年に開催されている「地方別活動交流会」ですが、今年新潟県は東京会場に5月25・26日の二日間の日程で参加しました▼一日目は、全国七つの道都県から参加した各民商総勢300〜400名が一堂に会し各地の民商活動の先頭に立っていらつしやる方々からの活動報告や各地で住民要求を地域づくりにかし、住民運動を組織し、行政を動かしてきた経験をお持ちの「保母島根大名誉教授」の講演をお聞きしました▼二日目はテーマを絞り、8つの分科会に分かれて活発な意見が交わされました▼今回青年部長代理として参加した尾崎奈菜（城東支部）さんの感想を次に載せたいと思います。

民商本体と事務局・婦人部・青年部の関わりを、今一度考えていかなければいけないと思いました。どこの青年部も年齢制限があるため部員が減っていく一方です。新しい会員さんの仲間を増やすには世代継承をすすめるべきだという声が多数でした。会員さんへのアフター・フォローをきちんと行うことで、民商の口コミが広がり、その結果拡大へと繋がるのだと改めて思います。魅力ある民商づくりと言っていますが、自分たち会員が楽しい民商づくりであれば、自然と民商の良さが発揮出来るのではないのでしょうか。

第4回地方別活動交流会



次回は、新事務局員で初参加の高森真弓さんの感想を載せる予定です。

各地で「支部総会」

開催される！

上越民商では来る7月7日（日）仲町のやすねで13時から定期総会を開催します。

城北支部では、5月18日に役員会を開き、事務局含め7名が参加。7月の上越民商の定期総会に向け、支部総会を6月8日に開催することを決め、役員案を相談し、一人でも多くの人に参加してもらうべく酒宴で懇親を深め、団結して呼びかけようと決意しました。城東支部の鴨島班は、先頃、3月に入会した新会員の歓迎会を兼ねた班総会を開催し、6名が参加しました。新会員の高橋吉男（運送業）さんは、紹介者の中村竜男（城西支部）さんと共にご夫婦で参加。班の皆さんと懇親を深め、大変喜んでいました。

県婦協第38回総会開催

5月19日に新潟ユニゾンプラザで県婦協第38回定期総会が開催され、上越から3名の代議員が参加しました▼